

《福田地区町政懇談会》

年月日 令和8年10月9日(金)
時 間 午後6時30分～午後8時00分
場 所 福田公民館
町民出席者数 24名

- ① 開会：副町長
- ② 町長あいさつ：(内容省略)
- ③ 町役場出席者紹介
- ④ 懇談
講義「地域の防災を考える」川俣町総務課
令和8年度町政懇談会事前質問に対する回答
- ⑤ 閉会：教育長

○講義「地域の防災を考える」に対する質疑応答 ※講義資料は別紙

質問1 地区防災計画について、今回の説明だけでは、なかなか策定しようとは思えない。町として、進めやすくなるような施策を考えてほしいと思うが、他の地区での反応はどうだったか。

【町長】

回答1 今のようなご意見が多かった。まずは自助をしっかりとできるようにしていただき、その次に共助。町や県も支援に入る。今回の説明で、町内一斉にできるとは考えていない。1つでも2つでもできて、それが広がっていくことを期待している。

質問2 自主防災組織について、どのくらいの規模を想定しているのか。他の事例があれば教えてほしい。

【総務課長補佐】

回答2 事例としては、小島地区自治会と、福田地区中組で立ち上げている。福島県災害対策課の方の説明では、組織の大きさは問わないとのこと。結成を検討したいということがあれば、町や、県の災害対策課にも入っていただき、相談に乗らせていただく。

質問3 自主防災組織について、組織の構成や人選など、分からないことが多い。何か事例はないか。

【総務課長補佐】

回答3 小島地区では、班長や避難誘導係などを決めて、誰がいつ何をやるか、時系列順に載せてある。ただ、特に決まりはなく、その地域の実情に合わせて検討いただける部分になる。ご相談いただければ、支援させていただく。福田地区では、中組で組織を立ち上げているため、そこが一番相談しやすいかもしれないが、町でも相談に乗らせていただく。

○事前質問に対する回答、その他意見交換

質問1 事前質問2の(1)、(2)について、対応する時期を今後教えていただきたい。

【建設水道課長】

回答1 芦沼田線等、町内各所で実施している工事の進み具合や、予算の確保次第であるため、いつ頃できるかは予想できない。次年度にできそうな場合はご相談させていただく。

質問2—1 高校が無償化になったことから、福島市の高校に行く方も増えている状況。通学はバスを利用する方がほとんどで、バスの定期券が3カ月で7万円ぐらいかかってしまう。アパートに住んでいる家庭では、仕事に影響がなければ、高校入学を機に引っ越しを検討するといった話も聞く。高校や大学に進む方に対し、そういった支援があれば、川俣に生活の拠点を置くこともできるのではないか。検討していただきたい。

【町長】

回答2—1 今、私としては川俣高校を魅力ある高校にしたいと、全国から募集をかけて取り組んでいるところ。川俣高校の校長先生も、中学3年生に対し、川俣高校の良さなどを説明に行くと報告を受けている。川俣高校でも、希望の大学に進学できるようなコースなどを議論しているところ。新たな寮の整備も図っている。交通費の補助ができれば良いが、現時点では、両方

同時にできないため、ご理解いただきたい。

質問 2-2 川俣高校に魅力がないというわけではなく、選択肢としてのこと。川俣高校に魅力を感じる方は川俣高校に行くと思うし、福島に魅力を感じる方は福島に行くと思う。高校、大学へ行く方へ交通費の補助をと申し上げたが、川俣町住民を一律に対象にすれば不公平はないと考える。私立高校を含めた無償化に伴い、専門的な学科がある私立を考える人も多いと思う。川俣高校はすごく魅力的だが、普通科しかないというところで、やはり他の科に行きたいと考える方も多くいると思う。川俣高校も魅力的で行きたいという方も多くいらっしゃるので、もし交通費の助成があったとしても、川俣高校へ進学する人数の変動はないのではないかと考える。

【教育長】

回答 2-2 高校は高等教育で、義務教育とはまた違う。どういうところで学びたいかは、自己の責任のもと、各家庭で判断されると思っている。川俣高校については、50 ほどの大学への推薦もできて、卒業後の進学もしっかりとできる高校にしている。

福島の高校で学びたいという方に対しては、川俣町独自に奨学金の貸与を無利子で行っている。卒業後、川俣に就職あるいは3年間居住すれば、貸与した奨学金の半分は免除となる。ぜひ利用していただきたい。

質問 3 旧福田小学校に CRS スポーツ工業という会社が入ったが、最近稼働しているのかどうか分からない。役場で何か分かればお伺いしたい。

【財政課長】

回答 3 今年4月より、CRS スポーツ工業を母体とする福島シルクフェニックスという女子バドミントンの実業団チームのジュニアチームの拠点として、体育館を使うようになった。以前バドミントンのガットを作る機械が旧校舎に入っていたが、旧福田小学校に移したため、今は機械の稼働はしていない。バドミントンのジュニアチームが体育館に来た関係で、1階はトレーニングスペースとしての利用を、一般開放も含めて検討中であり、2階については、製造研究での利用を検討中とのこと。

質問 4 川俣高校生をも多くしたいという話があったが、若い人にとって魅力のある職場がないと、川俣高校を卒業しても地元から出て行ってしまう人が多くなってしまっているのではないかと。魅力のある企業の誘致はできないか。

【町長】

回答 4 賃金の格差や労働条件といったものは都会に行けば行くほど良くなるため、その差を埋めることはなかなか難しいが、移住定住センターによるワンストップ窓口の設置や、オンライン面接、バーチャルを活用した企業紹介等を行い、町外からの移住者も入ってきているという現状。CRS スポーツ工業では、昨年 5 名ほど川俣高校から採用している。

アサヒ通信や日ピス、川俣精機からは、以前の川俣高校には機械科があったから卒業生を採用できると期待していたが、今は機械科が無くなってしまい、採用できないため、川俣高校を何とかしてほしいとの要望も受けている。機械科は無くなったが、現在も機械や商業の部分も授業に入れている。今町内にある企業が撤退されてしまうのも困る。町内の企業も待遇の改善を図っていると思う。

質問 5—1 大雨などの災害が発生した時、町では各家庭の裏山など、急傾斜地の点検や確認などは行ったのか。

【総務課長補佐】

回答 5—1 令和 5 年 3 月に防災マップを更新し、各家庭に配布している。更新の際、現地を確認したうえで、危険な箇所は色付けしている。ただ、そのほかにも危険と思われる箇所があると思うので、先ほどの説明で申し上げたように、ぜひまち歩きを実施してほしい。

質問 5—2 防災マップに載っていても載っていなくても、個人の土地で、イノシシによる掘り返しなどがあった箇所は、大雨で崩れる場合がある。そういった箇所の対策は町でやってもらえないのか。

【町長】

回答 5—2 イノシシなどによる被害があれば、町へ報告いただきたいが、個人の土地の部分を町で修繕等にはできないので、理解していただきたい。